

脳液髄液減少症における補充効果に関する後ろ向き検証研究

1. 研究の対象

2012 年 1 月～2021 年 12 月に当院で脳脊髄液減少症として治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

【研究目的】

脳脊髄液の不足により生じる脳脊髄液減少症において脳脊髄液の補充を行うと、脳脊髄液の不足により生じる起立性頭痛などが一時的に改善することが過去の記録からも明らかとなりました。今回これをまとめて論文として報告します。

【方法】

2012 年 1 月～2021 年 12 月の期間に当院で脳脊髄液減少症の診断でブラッドパッチにより治療を行った患者様を対象とし、カルテ上の記録からデータを収集します。

具体的には脳脊髄液減少症の漏出部位診断法として高知大学が発案した『Overflow leak test』の際の髄注や CT ミエログラフィーの造影剤注入、医師の裁量による生理食塩水補充の際に記録された起立性頭痛の改善についての情報を抽出します。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2024 年 12 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日：倫理委員会承認後

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、脳脊髄液補充後の症状改善の有無、治療予後等

*個人を特定しうる情報は用いません

試料：用いません

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立高知大学大学院医学系研究科脳神経外科学講座 研究責任者 中居 永一

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

TEL 088-880-2397

FAX 088-880-2400

e-mail enakai@kochi-u.ac.jp

研究責任者：国立高知大学大学院医学系研究科脳神経外科学講座 中居 永一